



## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月9日

上場会社名 日本金銭機械株式会社 上場取引所 東  
コード番号 6418 URL <https://www.jcm-hq.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上東 洋次郎  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役上席執行役員 (氏名) 高垣 豪 TEL 06-6643-8400  
経営企画本部長  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月4日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 有（機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	31,610	25.1	2,839	356.0	3,568	181.5	3,281	4.3
2023年3月期	25,258	26.0	622	9.5	1,267	△8.5	3,146	419.7

(注) 包括利益 2024年3月期 3,855百万円 (△16.6%) 2023年3月期 4,624百万円 (342.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	112.59	—	11.8	8.2	9.0
2023年3月期	106.24	—	12.5	3.5	2.5

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 △275百万円 2023年3月期 ー百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	47,698	28,655	60.1	1,018.44
2023年3月期	38,816	27,163	70.0	925.68

(参考) 自己資本 2024年3月期 28,655百万円 2023年3月期 27,163百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△4,925	△402	4,116	12,522
2023年3月期	△799	522	△1,422	13,204

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
	—	3.00	—	7.00	10.00	294	9.4	1.2
2024年3月期	—	7.00	—	19.00	26.00	740	23.1	2.7
2025年3月期 (予想)	—	14.00	—	14.00	28.00		30.3	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	17,500	31.4	1,900	106.6	1,800	2.5	1,500	9.4	53.31
通期	35,100	11.0	3,400	19.8	3,300	△7.5	2,600	△20.8	92.41

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（注）詳細は、決算短信（添付資料）14ページ「（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年3月期	29,672,651株	2023年3月期	29,672,651株
2024年3月期	1,535,927株	2023年3月期	328,364株
2024年3月期	29,149,252株	2023年3月期	29,612,372株

（参考）個別業績の概要

2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）個別経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	11,248	77.6	824	—	2,289	348.1	3,157	73.7
2023年3月期	6,334	15.5	△302	—	510	—	1,818	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	108.33	—
2023年3月期	61.40	—

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	31,798	17,734	55.8	630.30
2023年3月期	23,736	16,868	71.1	574.84

（参考）自己資本 2024年3月期 17,734百万円 2023年3月期 16,868百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 6「（4）今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	5
(4) 今後の見通し .....	6
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
連結損益計算書 .....	9
連結包括利益計算書 .....	10
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(連結損益計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	19

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍からの立ち直りにより社会経済活動の正常化が一層顕著となりました。一方で、長期化するロシア・ウクライナ紛争や中東情勢、世界的なインフレの長期化、各国の金融引き締め政策など経済の先行きには、絶えず注視していく必要があります。

当社グループの主力市場であるゲーミング市場においては、世界的な旅行需要の拡大を背景に、カジノホテル等での設備投資需要が旺盛になり、また国内外のコマーシャル市場においても、コロナ禍を期に主流となった非接触・非対面による代金決済のための各種製品の需要が一層活発化いたしました。

このような状況の下、ゲーミング市場においては当社製品への需要の増加に対する安定的な製品供給に努めるとともに、顧客ニーズに沿ったシステム製品等の様々な製品提案や、新製品の販売促進活動を含めた多角的なマーケティング活動を実施いたしました。海外コマーシャル市場においては、北中南米地域における新拠点を中心に、新製品の販路拡大を含めた現地代理店の拡充による事業拡大に資する営業活動や、各国・各市場にて異なる多様なニーズに応じた製品提案活動に注力いたしました。また、国内コマーシャル市場では訪日観光客の増加を背景とした流通・交通市場向けの顧客に対する紙幣還流ユニット等の主力製品の積極的な販売活動や、今後の市場シェア拡大に向けた新製品の開発に注力したことに加え、本年7月に予定されている紙幣の改刷に伴う需要喚起に努めました。

さらに、遊技場向機器市場ではスマート遊技機（特にスマートパチスロ）の普及拡大に伴い、パチンコホールでの積極的な設備投資が行われたことから、スマート遊技機の関連機器等における特に需要の高い製品の販売に注力いたしました。

以上に加え、前下半期から続いていた半導体等の部材供給不足の影響も、当下半期にはほぼ解消したことから、当連結会計年度の売上高は、31,610百万円（前連結会計年度比25.1%増）となりました。利益面においては売上高の増加に加えて、特にグローバルゲーミング及び遊技場向機器セグメントにおける収益性の高い製品の販売が増加したことや、部材供給不足の解消などに伴う利益率の向上により、営業利益は2,839百万円（前連結会計年度比356.0%増）となりました。また、円安の進行に伴う為替差益の計上により、経常利益は3,568百万円（前連結会計年度比181.5%増）、業績回復に伴う繰延税金資産の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は3,281百万円（前連結会計年度比4.3%増）となりました。

なお、当連結会計年度の平均為替レートは、米ドル141.20円（前連結会計年度132.08円）、ユーロは153.20円（前連結会計年度138.58円）で推移いたしました。また、決算期末の時価評価に適用する期末日為替レートは、米ドル151.42円（前連結会計年度末133.54円）でありました。

セグメント別の売上高の状況については、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

		前連結会計年度 (2023年3月期)	当連結会計年度 (2024年3月期)	増 減	
				金 額	率(%)
グローバル ゲーミング	売上高 セグメント利益	14,583 1,646	17,279 2,794	2,695 1,148	18.5 69.8
海外 コマーシャル	売上高 セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,471 37	5,915 △ 175	1,444 △ 213	32.3 -
国内 コマーシャル	売上高 セグメント利益	1,857 102	2,692 523	834 421	44.9 412.8
遊技場向機器	売上高 セグメント利益又は セグメント損失(△)	4,345 △ 125	5,723 1,001	1,377 1,127	31.7 -
調整額	売上高 セグメント損失(△)	- △ 1,038	- △ 1,305	- △ 266	- -
合計	売上高 営業利益	25,258 622	31,610 2,839	6,351 2,216	25.1 356.0

(注) 調整額にはセグメント間の内部売上高に係る消去額及び報告セグメントに直接賦課できない費用等が含まれております。

#### <グローバルゲーミング>

世界的な旅行需要の回復、拡大に伴うカジノホテルの活況を背景として、同ホテルでの設備投資需要が拡大するとともに、当上半期まで続いた部材の入手難も当下半期にはほぼ解消したことから、主力製品であるカジノゲーム機搭載用の紙幣識別機ユニットやプリンターユニットの販売が増加いたしました。その結果セグメント売上高は17,279百万円（前連結会計年度比18.5%増）となりました。利益面では、部材、原材料価格の上昇による製品価格の改定が浸透したこともあり、セグメント利益は2,794百万円（前連結会計年度比69.8%増）となりました。

#### <海外コマーシャル>

コロナ禍後のスタンダードとなった非接触・非対面決済に向けたセルフレジ精算機に搭載する紙幣還流ユニットの販売が増加したことなどにより、セグメント売上高は5,915百万円（前連結会計年度比32.3%増）となりました。その一方で、利益面では、部材価格の高騰に加え、上記グローバルゲーミングセグメントとは異なり、部材価格の上昇分の製品価格への浸透が円滑に進まなかったこともあり、セグメント損失は175百万円（前連結会計年度は37百万円の利益）となりました。

#### <国内コマーシャル>

国内コマーシャル向けは用途を絞り込んだ活動を行っており、セルフガソリンスタンド精算機、飲食店券売機向けの紙幣還流ユニットや、バス運賃箱向けの紙幣識別機ユニットの販売が堅調に推移したことに加えて、紙幣の改刷に伴う紙幣鑑別機ユニット等の当社製品の更新需要が当下半期より増加したことなどから、セグメント売上高は2,692百万円（前連結会計年度比44.9%増）、セグメント利益は523百万円（前連結会計年度比412.8%増）となりました。

#### <遊技場向機器>

パチンコホールにおいてスマート遊技機の導入が本格化したことから、そのために必要となる専用ユニットを中心とした周辺機器の販売や設置工事が大幅に増加し、セグメント売上高は5,723百万円（前連結会計年度比31.7%増）となりました。スマート遊技機専用ユニットは、従来の玉貸機やメダル貸機とは異なり、廉価での販売がほとんどなかったことから、セグメント利益についても1,001百万円（前連結会計年度は125百万円の損失）と大幅な増加となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて8,881百万円増加し、47,698百万円となりました。

流動資産合計は、前連結会計年度末に比べて7,870百万円増加し、40,143百万円となりました。「受取手形、売掛金及び契約資産」が2,058百万円、棚卸資産が7,953百万円それぞれ増加した一方、「現金及び預金」が701百万円、「有価証券」が428百万円、前渡金の減少などにより「その他の流動資産」が999百万円それぞれ減少いたしました。

固定資産合計は、前連結会計年度末に比べて923百万円増加し、7,431百万円となりました。「有形固定資産」が生産用金型等の取得により611百万円、「繰延税金資産」の計上等により「投資その他の資産」が235百万円それぞれ増加いたしました。

繰延資産合計は、社債の発行に係る費用について繰延計上したことにより、前連結会計年度末に比べて88百万円増加し、123百万円となりました。

流動負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,635百万円増加し、9,260百万円となりました。「支払手形及び買掛金」が1,024百万円、「1年内返済予定の長期借入金」が660百万円それぞれ増加いたしました。

固定負債合計は、前連結会計年度末に比べて5,754百万円増加し、9,782百万円となりました。社債の発行により「社債」が4,000百万円、「長期借入金」が2,040百万円それぞれ増加いたしました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,492百万円増加し、28,655百万円となりました。自己株式の買付などにより「自己株式」が1,951百万円増加、また、親会社株主に帰属する当期純利益の計上などにより「利益剰余金」が2,871百万円、在外子会社の時価評価による「為替換算調整勘定」が501百万円それぞれ増加いたしました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ、681百万円減少し、12,522百万円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は4,925百万円（前連結会計年度は799百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益3,634百万円、仕入債務の増加665百万円などにより資金が増加した一方、売上債権の増加1,641百万円、棚卸資産の増加7,416百万円、法人税等の支払587百万円などにより資金が減少したことによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は402百万円（前連結会計年度は522百万円の収入）となりました。これは主に有価証券純減少482百万円などにより資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出885百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は4,116百万円（前連結会計年度は1,422百万円の支出）となりました。これは主に長期借入れによる収入3,300百万円、社債の発行による収入3,903百万円などにより資金が増加した一方、長期借入金の返済による支出600百万円、自己株式の取得による支出1,966百万円、配当金の支払409百万円などにより資金が減少したことによるものであります。

また、これらのほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額529百万円の資金の増加がありました。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは以下のとおりであります。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	81.7	69.6	69.6	70.0	60.1
時価ベースの 自己資本比率 (%)	43.3	57.0	60.4	90.7	77.4
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率(年)	—	—	3.8	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	—	—	47.2	—	—

※自己資本比率：自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

## (4) 今後の見通し

次期（2025年3月期）における当社グループを取り巻く事業環境については、雇用や所得環境の改善など世界各地での景気回復への期待が高まる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中東地域をめぐる情勢の悪化、資源・原材料価格の高止まり、円安の継続など依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

当社グループの関連業界においては、前期当初まで継続した半導体を中心とした部材の調達難はほぼ解消しており、各市場での顧客における景況感はおおむね良好で、設備投資意欲も引き続き旺盛であることから、当社の事業活動は堅調に推移するものと思われまます。

このような状況の中、ゲーミング市場においては、従前からのカジノゲーム機搭載用のユニット製品に留まらず、カジノホールの省力化や運営の自動化に資するシステム製品など、取扱製品の多様化を図ることで、売り上げ規模及び市場シェアの拡大に努めます。

また、コマーシャル市場においては、新たな用途に向けた新製品の本格的な市場投入に加えて、北米地域と中南米地域を中心に新たな販売地域・市場や顧客における潜在ニーズの発掘に注力することで、同市場での一層の売り上げ規模の拡大に努めます。さらに、遊技場向機器市場においては、スマート遊技機の普及拡大は次期も継続（次期はスマートパチンコの普及に期待）するものと思われることから、スマート遊技機専用ユニットの拡販に継続して取り組んでまいります。

以上を踏まえ、次期の連結業績予想につきましては、以下のとおりと見込んでおります。

## 次期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益
次期予想	35,100	3,400	3,300	2,600
当期実績	31,610	2,839	3,568	3,281
増減額	3,489	560	△268	△681
増減率 (%)	11.0	19.8	△7.5	△20.8

なお、上記の次期（2025年3月期）連結業績予想数値は、昨年5月に策定、公表いたしました中期経営計画「JCM Global Vision 2032」の最終年度（2026年3月期）の数値目標を上回るものであることから、現在、当該中期経営計画の見直し、あるいはローリングによる更新の検討を進めており、新たな目標数値を策定次第、速やかに公表いたします。

また、次期の為替レートは、米ドル140円、ユーロ150円を想定しております。

## (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループでは、利益配分に関する基本方針として、成長戦略の実現による利益の拡大を通じた配当額の増加と、株主の皆様への利益還元である配当の安定的な実施という両面を勘案し、連結配当性向30%以上を基本に、純資産配当率にも配慮して決定することとしております。

当期の利益還元につきましては、上記方針に基づく利益配当に加え、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、総額1,966百万円の自己株式の取得を行いました。

また、利益配当金の決定に当たっては、為替差損益等の一過性の利益変動要因については除外し、かつ、自己株式取得等の他の株主還元策の状況を総合的に勘案して決定することといたしました。

以上により当期の期末配当金につきましては、従前の予想どおり1株につき19円とし、中間配当金と合わせて年間26円といたしました。

なお、次期の年間配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき1株につき年間28円（連結配当性向30.3%）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,224,447	12,522,582
受取手形、売掛金及び契約資産	4,516,570	6,575,455
電子記録債権	488,474	481,028
有価証券	487,201	58,404
商品及び製品	5,826,025	12,209,054
仕掛品	1,083,263	1,195,138
原材料及び貯蔵品	4,701,398	6,159,975
その他の流動資産	2,135,230	1,135,852
貸倒引当金	△189,281	△193,922
流動資産合計	32,273,329	40,143,568
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,171,662	1,307,940
機械装置及び運搬具（純額）	58,338	112,247
土地	1,515,704	1,524,397
リース資産（純額）	0	6,872
その他（純額）	592,852	998,917
有形固定資産合計	3,338,558	3,950,375
無形固定資産		
ソフトウェア	29,838	48,075
ソフトウェア仮勘定	—	3,266
その他の無形固定資産	113,994	168,429
無形固定資産合計	143,833	219,772
投資その他の資産		
投資有価証券	1,168,845	1,010,160
退職給付に係る資産	604,335	745,251
繰延税金資産	896,193	1,078,961
その他の投資等	434,298	499,629
貸倒引当金	△77,846	△72,611
投資その他の資産合計	3,025,828	3,261,392
固定資産合計	6,508,219	7,431,539
繰延資産		
社債発行費	35,076	123,098
繰延資産合計	35,076	123,098
資産合計	38,816,625	47,698,207

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,559,318	4,583,516
1年内返済予定の長期借入金	600,000	1,260,000
リース債務	80,242	105,242
未払法人税等	356,207	392,121
賞与引当金	277,200	366,624
役員賞与引当金	20,000	36,000
事業構造改善引当金	154,756	—
その他の流動負債	2,577,597	2,517,213
流動負債合計	7,625,321	9,260,718
固定負債		
社債	2,000,000	6,000,000
長期借入金	1,500,000	3,540,000
リース債務	173,125	189,215
繰延税金負債	302,163	—
その他の固定負債	52,621	52,802
固定負債合計	4,027,910	9,782,017
負債合計	11,653,232	19,042,736
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220,316	2,220,316
資本剰余金	2,765,896	2,764,839
利益剰余金	21,699,807	24,570,828
自己株式	△402,481	△2,353,842
株主資本合計	26,283,539	27,202,141
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,273	287,152
為替換算調整勘定	664,579	1,166,175
その他の包括利益累計額合計	879,853	1,453,328
純資産合計	27,163,392	28,655,470
負債純資産合計	38,816,625	47,698,207

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	※1 25,258,580	※1 31,610,569
売上原価	※2,※4 16,268,572	※2,※4 19,422,282
売上総利益	8,990,008	12,188,287
販売費及び一般管理費	※3,※4 8,367,374	※3,※4 9,349,092
営業利益	622,633	2,839,195
営業外収益		
受取利息	5,121	19,254
受取配当金	35,991	40,056
為替差益	521,229	810,146
その他	127,181	183,658
営業外収益合計	689,524	1,053,115
営業外費用		
支払利息	27,382	30,240
社債発行費償却	7,015	8,160
持分法による投資損失	—	275,708
その他	10,192	10,165
営業外費用合計	44,590	324,275
経常利益	1,267,567	3,568,035
特別利益		
固定資産売却益	※5 1,587,839	※5 2,984
投資有価証券売却益	—	65,563
特別利益合計	1,587,839	68,548
特別損失		
固定資産除却損	※6 1,492	※6 2,133
投資有価証券評価損	9,568	—
特別損失合計	11,060	2,133
税金等調整前当期純利益	2,844,346	3,634,449
法人税、住民税及び事業税	564,902	819,494
法人税等調整額	△866,703	△466,973
法人税等合計	△301,801	352,521
当期純利益	3,146,147	3,281,928
親会社株主に帰属する当期純利益	3,146,147	3,281,928

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益	3,146,147	3,281,928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63,484	71,879
為替換算調整勘定	1,415,119	482,445
持分法適用会社に対する持分相当額	—	19,151
その他の包括利益合計	1,478,603	573,475
包括利益	4,624,751	3,855,404
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,624,751	3,855,404
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,216,945	2,762,525	18,790,970	△2,379	23,768,061
当期変動額					
剰余金の配当			△237,310		△237,310
親会社株主に帰属する当期純利益			3,146,147		3,146,147
自己株式の取得				△400,101	△400,101
自己株式の処分					—
新株の発行	3,371	3,371			6,742
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	3,371	3,371	2,908,837	△400,101	2,515,478
当期末残高	2,220,316	2,765,896	21,699,807	△402,481	26,283,539

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	151,789	△750,540	△598,750	23,169,310
当期変動額				
剰余金の配当				△237,310
親会社株主に帰属する当期純利益				3,146,147
自己株式の取得				△400,101
自己株式の処分				—
新株の発行				6,742
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	63,484	1,415,119	1,478,603	1,478,603
当期変動額合計	63,484	1,415,119	1,478,603	3,994,082
当期末残高	215,273	664,579	879,853	27,163,392

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,220,316	2,765,896	21,699,807	△402,481	26,283,539
当期変動額					
剰余金の配当			△410,907		△410,907
親会社株主に帰属する当期純利益			3,281,928		3,281,928
自己株式の取得				△1,966,950	△1,966,950
自己株式の処分		△1,057		15,589	14,532
新株の発行					—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					—
当期変動額合計		△1,057	2,871,020	△1,951,361	918,602
当期末残高	2,220,316	2,764,839	24,570,828	△2,353,842	27,202,141

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	215,273	664,579	879,853	27,163,392
当期変動額				
剰余金の配当				△410,907
親会社株主に帰属する当期純利益				3,281,928
自己株式の取得				△1,966,950
自己株式の処分				14,532
新株の発行				—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	71,879	501,596	573,475	573,475
当期変動額合計	71,879	501,596	573,475	1,492,077
当期末残高	287,152	1,166,175	1,453,328	28,655,470

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,844,346	3,634,449
減価償却費	244,859	388,167
引当金の増減額 (△は減少)	△38,680	△195,728
受取利息及び受取配当金	△41,113	△59,310
支払利息	27,382	30,240
社債発行費償却	7,015	8,160
為替差損益 (△は益)	△349,575	△897,152
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,586,347	△850
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△65,563
投資有価証券評価損益 (△は益)	9,568	—
持分法による投資損益 (△は益)	—	275,708
売上債権の増減額 (△は増加)	△499,831	△1,641,072
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,745,950	△7,416,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,070,634	665,199
未消費税等の増減額 (△は増加)	△105,045	△336,800
その他の資産・負債の増減額	△268,929	1,259,166
小計	△431,667	△4,351,668
利息及び配当金の受取額	40,425	58,621
利息の支払額	△28,367	△44,625
法人税等の支払額	△380,094	△587,543
営業活動によるキャッシュ・フロー	△799,703	△4,925,216
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△73,105
定期預金の払戻による収入	—	95,370
有形固定資産の取得による支出	△557,256	△885,967
有形固定資産の売却による収入	1,936,809	5,505
無形固定資産の取得による支出	△21,124	△36,599
有価証券の純増減額 (△は増加)	△484,925	482,479
投資有価証券の取得による支出	△2,074	△2,359
関係会社株式の取得による支出	△240,556	—
投資有価証券の売却による収入	45,567	100,886
差入保証金の差入による支出	△154,588	—
長期貸付けによる支出	—	△54,062
その他	200	△34,831
投資活動によるキャッシュ・フロー	522,051	△402,683
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△119,552	—
長期借入れによる収入	—	3,300,000
長期借入金の返済による支出	△600,000	△600,000
社債の発行による収入	—	3,903,817
配当金の支払額	△236,504	△409,666
リース債務の返済による支出	△66,719	△110,357
自己株式の取得による支出	△400,101	△1,966,950
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,422,876	4,116,842
現金及び現金同等物に係る換算差額	663,010	529,192
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,037,518	△681,864
現金及び現金同等物の期首残高	14,241,965	13,204,447
現金及び現金同等物の期末残高	13,204,447	12,522,582

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結損益計算書関係)

## ※1 顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との収益から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。

## ※2 期末棚卸高は収益性の低下に伴う簿価切下後の金額であり、次の棚卸資産評価損が売上原価に含まれております。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	205,447千円	354,165千円

## ※3 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
給与・賞与	2,892,208千円	3,333,818千円
貸倒引当金繰入額	11,648	△4,902
賞与引当金繰入額	146,570	190,325
役員賞与引当金繰入額	20,000	36,000
退職給付費用	79,949	△44,729
支払手数料	712,216	871,326

## ※4 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費の総額

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	1,396,188千円	1,526,012千円

## ※5 固定資産売却益の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物及び構築物	一千円	149千円
土地	1,584,502	—
機械装置及び運搬具	2,509	2,834
その他	827	—

## ※6 固定資産除却損の主な内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
建物及び構築物	0千円	828千円
その他	1,491	1,305



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、製品・サービスについて、事業毎に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業単位を基礎としたセグメントから構成されており、「グローバルゲーミング」、「海外コマーシャル」、「国内コマーシャル」及び「遊技場向機器」の4つを報告セグメントとしております。

「グローバルゲーミング」は、カジノホール及びOEM顧客向けの紙幣識別機・還流ユニット並びにゲーミング用プリンター製品等の販売を行っております。「海外コマーシャル」は、海外の金融・流通・交通市場向けの紙幣識別機・還流ユニット等の販売を行っております。「国内コマーシャル」は、国内の金融・流通・交通市場向けの紙幣・硬貨還流ユニット等の販売を行っております。「遊技場向機器」は、パチンコホール向けのメダル自動補給システム・紙幣搬送システムをはじめとする周辺設備機器等の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	14,583,988	4,471,034	1,857,867	4,345,690	25,258,580	—	25,258,580
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	14,583,988	4,471,034	1,857,867	4,345,690	25,258,580	—	25,258,580
セグメント利益 又は損失 (△)	1,646,303	37,751	102,132	△125,024	1,661,161	△1,038,528	622,633
セグメント資産	14,822,018	6,321,863	1,749,436	3,663,845	26,557,164	12,259,460	38,816,625
その他の項目							
減価償却費	151,883	29,279	3,465	21,740	206,368	38,490	244,859
持分法適用会社へ の投資額	107,353	138,307	—	—	245,660	—	245,660
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	179,820	60,696	15,925	160,514	416,957	181,306	598,263

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,038,528千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
- (2) セグメント資産の調整額12,259,460千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
- (3) 減価償却費の調整額38,490千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額181,306千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	グローバル ゲーミング	海外 コマーシャル	国内 コマーシャル	遊技場 向機器	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	17,279,315	5,915,955	2,692,078	5,723,219	31,610,569	—	31,610,569
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	17,279,315	5,915,955	2,692,078	5,723,219	31,610,569	—	31,610,569
セグメント利益 又は損失 (△)	2,794,890	△175,881	523,716	1,001,985	4,144,710	△1,305,515	2,839,195
セグメント資産	19,290,610	8,862,548	3,031,959	3,586,493	34,771,611	12,926,595	47,698,207
その他の項目							
減価償却費	225,610	48,251	9,550	33,155	316,568	71,598	388,167
持分法適用会社へ の投資額	12,523	17,099	—	—	29,622	—	29,622
有形固定資産及び 無形固定資産の増 加額	567,532	100,941	33,990	125,938	828,403	206,812	1,035,215

(注) 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△1,305,515千円は、各セグメントに配分していない全社費用です。
- (2) セグメント資産の調整額12,926,595千円は各セグメントに配分していない全社資産です。
- (3) 減価償却費の調整額71,598千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る減価償却費です。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額206,812千円は各セグメントに配分していない全社資産に係る設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
6,204,621	11,327,336	6,264,803	1,461,819	25,258,580

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
2,515,032	384,697	58,973	379,853	3,338,558

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Aristocrat Technologies Inc.	2,584,290	グローバルゲーミング

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
8,420,780	12,222,030	8,567,162	2,400,596	31,610,569

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	北米	欧州	その他の地域	合計
2,830,397	437,968	59,164	622,845	3,950,375

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
Aristocrat Technologies Inc.	3,460,657	グローバルゲーミング

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	925円68銭	1,018円44銭
1株当たり当期純利益	106円24銭	112円59銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,146,147	3,281,928
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	3,146,147	3,281,928
普通株式の期中平均株式数(株)	29,612,372	29,149,252

## (重要な後発事象)

## 自己株式の取得

当社は、2024年5月9日開催の取締役会において、会社法第459条第1項及び当社定款第41条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について下記のとおり決議いたしました。

## 1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため。

## 2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	1,220,000株 (上限) (発行済株式総数 (自己株式を除く) に対する割合 4.34%)
(3) 株式の取得価額の総額	1,579,900,000円 (上限)
(4) 取得日	2024年5月10日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

## (ご参考) 2024年4月30日時点の自己株式の保有状況

発行済株式総数 (自己株式を除く)	28,136,724株
自己株式数	1,535,927株